

総務省プラン20周年記念多文化共生セミナー
2026.3.13 明治大学中野キャンパス

Free your heart of borders !

(心の国境をなくそう!)

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 SPIRA (1990年設立)
Saga Prefecture International Relations Association

理事長 黒岩春地	1956	仙台市生まれ
	1981-2016	佐賀県庁 (通産省、市町村課長、総務部長 (経営支援本部長、国際・観光部長等を歴任))
	2016-2018	JICAボランティア (カリブ海セントルシアで視覚障害者支援)
	2018～	SPIRA 理事長

-目次-

論点Ⅰ

この20年で「多文化共生の地域づくり」は進んだか？

- 1-1 大きく変わった景色
- 1-2 「国際化への対応」が大きく変化
- 1-3 20年前（2006年）の佐賀県は？
- 1-4 佐賀県における「多文化共生の地域づくり」の進展
- 1-5 佐賀県外国人人数とSPIRA予算
- 1-6 今のSPIRA（2026）

論点Ⅱ 国、県、市町村の役割分担について

論点Ⅲ 残された課題

論点 I

この20年で「多文化共生の地域づくり」は進んだか？

大きく変わった景色

→佐賀県では、この20年間、「多文化共生の地域づくり」は着実に進んできている、と思う（Goalはまだまだ遥かに先だけど・・・）



「国際化への対応」が大きく変化

20年前 (2006)	今 (2026)
<p data-bbox="127 486 875 575">外に向けた国際化</p> <p data-bbox="127 662 875 822">・姉妹交流等を生かした 地域振興のイメージ</p> <p data-bbox="127 901 904 1115">中国(遼寧省、貴州省) 香港、 韓国全羅南道、タイ(観光) オ ランダ(陶磁器) 等</p> <p data-bbox="137 1189 643 1243">(・多文化共生の推進)</p>	<p data-bbox="973 486 1528 575">内なる国際化</p> <p data-bbox="973 662 1657 822">・待ったなしの 「多文化共生の推進」</p> <p data-bbox="973 901 1765 1036">もはや外国人住民なしの地域 あり得ず</p> <p data-bbox="973 1129 1682 1265">外国人と一緒にどう地域を 作っていくか</p>

20年前（2006年）の佐賀県は？



➤ **市町村合併（2005-2007年）**

- ・40市町村→20市町へ

➤ **佐賀県行財政改革緊急プログラム（2004-2010年）**

- ・基金取り崩し
- ・職員削減
- ・給与カット
（→県民協働化テストへのトライ）

➤ 県補助金カットによりSPIRAでも基金の約1/5取り崩し （2008-2011年）

（20,000千円×3年+18,918千円取り崩し）

… **正直、多文化共生どころではない** …

（細々と楽しそうな交流イベントを実施）

佐賀県における「多文化共生の地域づくり」の進展

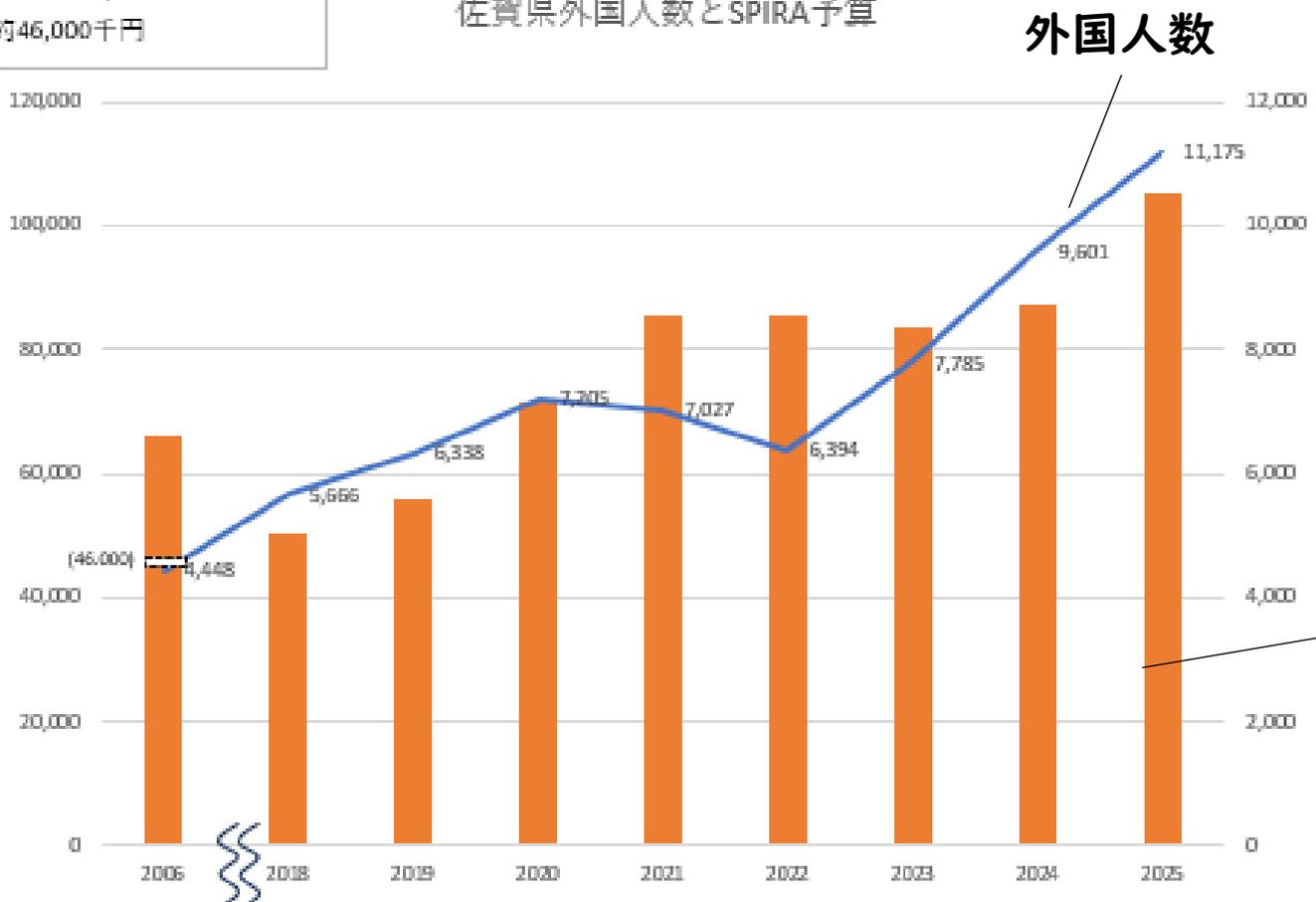
	20年前 (2006)	今 (2025)	
佐賀県人口	872,302人	794,252人	0.9倍
佐賀県外国人数	4,448人	11,175人	2.5倍
佐賀県内外国人率	0.5%	1.4%	2.8倍
SPIRA予算(千円)	46,000(千円)	105,162(千円)	2.3倍
SPIRA職員数	6人	15人	2.5倍
災害時対応 (外国人支援)	特にSPIRAに求められた業務なし	災害時多言語支援センターを設置、活動 警報以上が出た場合、9言語発信	皆増
地域日本語教室数	4教室(3市/20市町)	26教室(16市町/20市町)	6倍
医療通訳利用者数	不明(2008年2件。通訳ボランティアに依頼。患者本人or病院が通訳費支払い)	228人(2024FY、患者も病院も無料) 医療通訳さぽーたーの4割が外国人	100倍
外国人相談数	269	777(2024FY)	3倍

	H18	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年度	2006	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
佐賀県外国人数	4,448	5,666	6,338	7,205	7,027	6,394	7,785	9,601	11,175
佐賀県外国人率	0.51%	0.68%	0.76%	0.87%	0.86%	0.79%	0.96%	1.20%	1.41%
SPIRA予算 (千円)	66,029	50,357	55,799	71,713	85,417	85,627	83,497	87,090	105,162
SPIRA職員数	6	7	7	9	14	15	15	15	15

2006年度は2005年12月末日、
その他の年度は1月1日時点

海外技術研修員受入事業
(委託事業)を除くと
約46,000千円

佐賀県外国人数とSPIRA予算



外国人数

SPIRA予算

今のSPIRA (2026)

1 国際理解講座



3 医療通訳



2 日本語教育



4 災害多言語支援センター



5 外国人総合相談窓口



6 ウクライナ避難民受入れ



7 SPIRA 国際フェスタ



8 Sagan World CUP

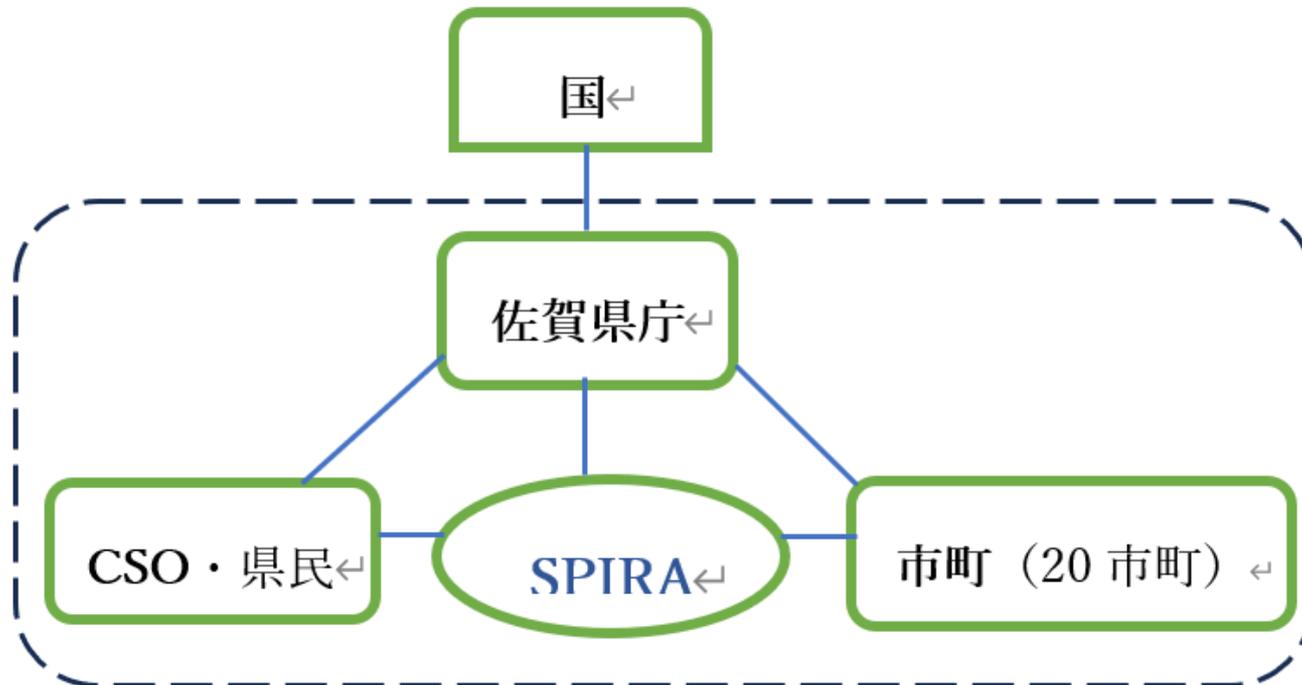


論点Ⅱ 国、県、市町村の役割分担について

佐賀県では、多文化共生に取り組む主役はいつも4者。

県・SPIRA・市町・CSOが一体となって取り組む土壌

※2005-2007年 **佐賀県県民協働化テスト**（財政危機を契機に行われた社会実験。県の仕事をいったん白紙に戻し、県民と一緒に新しい公共の形を模索したもの）の置き土産か。この後、日本初の国連公共サービス賞受賞（2009）やNGO誘致へ



論点Ⅲ 残された課題

- 多文化共生への理解、共感醸成
(国が国民にどう語るか)
- 日本語教育の体制づくり
(ボランティア支援の限界)
- プレスクール、高校進学等への支援 など

まだまだ沢山ある

・
・
・